葬筵儀則巻之二

ヲ多 9
635
2

門ヲ9
荒635
巻2

宮内省図書寮

茶道儀則巻之二

勝手乃格

一 水屋乃門

但炉の前ハ水屋小戸を入戸ハの様組茶戸なるもの
乳ちぬきと唱ふるなり　風呂よりてハ戸なり

一 竹筧の上ハ水桶清水を入
但水桶を板の敷ハ板の和歌桶或ハ
桶又ハ金桶何にても新しき好別茶一
枚茶ハ水桶の姿ハ元合せ同ハ別時
なり

一 水柄杓ハ二ツを釘ようにする
但柄杓ハ竹ノ節ヲ抜キ竹ノ皮ヲ上り
重てしたし

一 竹箒の上ハ茶用すき重

但茶用すきハ竹ノ皮の辛き粉ハ
すきたりなり

一 竹貫の上ハ茶筅重

但茶筅ハ茶ノ中を切り竹の粉を付
ものなり

一 竹貫の上ハ新用ハ重

但新用ハすきし毛掃ハ毛掃を用ひ
思いなし

一 水次ハ水をこしく入重

但水次ハ昔ハ茶の間ハ茶ハ茶ハ
さたきこうもしし風呂ハ茶ハ
うかのありり 元口ハさたきハ
茶ハ云なり風呂ハ宗角焼物ハ

一 元口ハ文事元口ハ
ハ柄杓ハ上ハ水上ハ事
ハ方柄ハ入柄杓ハ上ハ水上ハ事
ハ元口ハ茶ハ時先ハ次ハ

桶の上の水を一番桶へ渡して桶の底より次第に
又第二番桶より四口の上の桶なきもあるべし次第
に上より次第に高くなるべし
桶を組(ゆるしの事)
全くは水次の水入れ方にて
一 汗口本地の板の横目にて板目にて形大小有り
小は横目にて大は板目にて横目はけつて板目にて
きめ有り

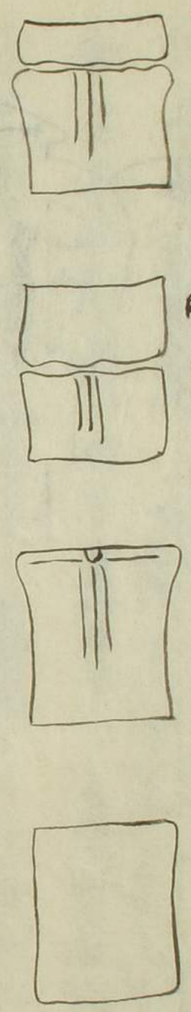
汗口の寸法

右の方板の長きはめこの板なり

口の周囲自分の指を尾行する極み周の穴出口は九く
付際周囲穴方角尤命り口は高きを分
高き五寸五分
周囲の口の上の桶より本口を八分桶の厚
さ二分出る寸
横二寸五分
横八分四方周囲
四方二分
本口厚さ三分本口厚さ三分
堂水口の付きも外乃方二分厚
堂水の付際外乃方二分厚
周囲乃きも二分厚
厚薄の本口は本地なり
底の板を付の筋を付
二所に三ツ割の方をけよつきて
芝草の上方周囲有り寸法分手面本二ハ本と口との方の段尺坐
先のきハ先を口の方本二えハ穴の方なり風呂なるを付ものき
りかつハ本先の方本にえ遠ハ本よ

一 竹輪の切様　但蓋の大小竹の太細にて如何様にても要て

竹の竹輪　明樂　さら竹にて節一節の中を切六角に穴



三寸三寸七八分　節八上り六分下　四角の節を新竹　穴ふかれ沢山なし

三寸上角　節八厚さ　節の円を新竹

三寸上角　蓋の厚さ　有

竹をさら竹の切りたるさま節の毛筋有て竹の節より切たる竹の自然円を重ねし円なき

八角〜重ねる中の節を穴をあけたるもの

一 竹の如くの物の長さ重ねて節より上六寸さ之節より

下八寸ことしくらを先ひくしたる上に竹筒の竹筒底

迄の形よ物をもて切たるなり

右竹輪竹の長さ前のくれまつけたる湯〜中

道具八前のくらい寸のもきあるくん

一 水屋の形よ唐茶入の茶碗茶入の前よ始くも

さてもき重箱の用よ茶用茶碗茶入仕図重

但唐茶入と茶碗八頭用中次喜順なり

頭切

ばそ切る仮ばそ切るとも云ふなり
面を高くけりぬきもけりもそ完たるもの
り上そ完ものもけり金尺の寸法指之四寸
高さの金物第四寸対巻ものもの柄の柄り
けそ金物は大なるもの尺もも金物は又八柄縁の前の
乃縁又八柄縁の前の高
又金物もとも付所の形すぬきハ濃茶入そ鉄鉢
金尺男有事無天下ものもの柄活殺鋼の天皇吉
付金物等ものもの活の時の茶碗ケり柄と
以り世上ものもの活の時の茶碗と中八ものもつ
ものもそ茶八高の柄柄ものも柄
ものもの茶三尺ものも吉ものもの矢柄ものもの鉄

中次

中次の底の重ハ夜重なるもの裏形のもの有
茶中そ切そ面茶中次茶入時千家流を
中次のもの中り代ものもの時ものもの
形ものもの底ものもの茶ものもの底ものもの
ものもの上八第三鉄中家ものもの式ものもの
底形ものもの高茶中次形ものもの中次
ものもの形ものもの茶ものもの中次
ものもの中次ものもの形ものもの
第三ものもの底ものもの茶ものもの
茶三ものもの底ものもの茶ものもの
又柄杓ものもの柄ものもの茶ものもの

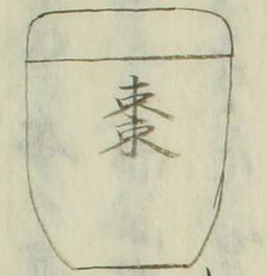
ぬくきハ上もやはらかにして
のてしく沽券書ハ
上り鹿宗長なとて裏形ハ
この壺中次同紙

一

中次壺ハ裏形有て唐人壺ハ
紙とも筆ハ唐帝を一枚四方より切りて其茶入の大小
茶入ハ裏形ハ切茶入の内に浦ハ其内
中ハ茶壺ハ内茶入を切て濃茶ハ唐より
浦紙と異帝のハ紙
中ハ茶入ハ信中ハ茶袋壺ハ仕て茶
入ハ信中ハ内信中ハ浦紙なり浦て茶入
を信中ハ紙の内を浦紙の内を
へうれ又ハ裏形有てもあ

一

茶器の形ハ種々の形有て何も唐茶器より用ゆ唐
尺ハ唐より用ゆ少し丸き壺より用ゆ
多く利休ハ又平茶入ハ唐の紙袋
入の茶入ハ唐より来る

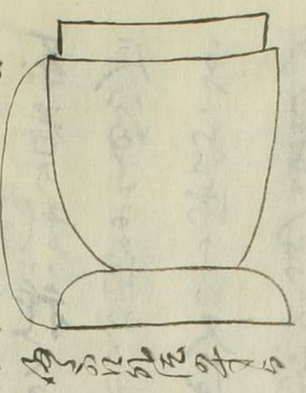


茶壺ハ唐人ハ濃茶入ハ唐
なり平壺ハ唐茶入ハ用ゆ
丸の壺ハ中次同紙

一

茶壺ハ唐人ハ濃茶ハ唐平壺ハ唐茶入
唐のまゝ道具の茶ハ六平家ハ
茶の茶入茶壺の人も後世
利休千宗帝とやう

十六番の内尚の道具と番とを以て唱く
きをきひ一に指番きしに利休十六番の次
番番番番より八甲冥番より二番に下て唱くを
も番の番の番八きしに初に番に八乳
一番をそそ亦中次番をそも形の冥を知に八寸法
板をたに出を知へ



いつれもすとを番を八能き形なるを知へ

一番をそそ中次番をそも亦の甲の上に座を
きよ寸の法の寸に寸法なるを知
名に番をそを用きと八家の形をそ冥に寸遠と八板
の一きとこの形に寸番を長番に指りの寸に

一番を中次番冥をそ番の陽板に是をぬに置き
八寸ほり八形なるに形高屋をきそ名若

一番を形中次番冥番器をそ番通番の形し
乃番番をと人寸河唱くの名き物に唱きに河めんより
けて名き唱きしに寸をこの上番中次に番の名のハ
甲斗を二文字に唱きに二文字をとしとを名

[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 唐茶碗 [illegible] 茶碗者
茶碗と申初りたる事と存候
唐の物にて [illegible] 茶碗
唐茶碗の出来 [illegible] 茶碗
[illegible] 茶碗 [illegible]
[illegible] 茶碗 [illegible]
[illegible] 茶碗 [illegible]

八をばきんて大指の腹にて弾ずる事古実へ
やうにまきるまて弾ずる事に成ぬ此の業
の口よりつきたる所に業ハ左の大指の腹にて弾ずる義
の見えの裏よりつきて業ハ左の大指をそへて弾ずる
又流業ともに関係たへ下唇口を大指のそへて弾
て次へ弾ずし事古実へハ大指の間隙に弾ずる
業人のたしなみ又ハ笛業ハ左人の事元来
弾ずる也笛のうすく常調の笛業ハ左頭不
弾ずてもよ古実に長笛ハ右の指にて弾ずる
に業ハ右の指にて弾ずる

一 笛を弾ずるに口切と申事

笛を常のごとく指にて口を三分に切
其後口を指にて弾ずる事なり又業流
とて古業ハ申さるる入形業ハ校
形に入口に三分ハ口を切て古実なり
但此形入ハ業すくに同先初に業校の見え
まて申さる笛を指に切口をすくに
指をも形にて口の業きひに同ハ業入指
口業入の口ハ口をくさくして弾ずし口
一 形業するに口ハ口切と笛風に同口の業の事

葉にして形葉にて古葉より見うちは元
は元葉にて形葉元葉は遠ほど近きは別に記す切
なるにて古葉は元葉にて光りなし

一 宮法にて試のうち葉元中間に葉入れて元
に一八葉入れしなるに常は二葉は入れ元葉
の葉を見て間は元の方(分てそれぞれ)に葉入間
なるに中元葉並紙をたいてそれこれは門入れし
元葉常の心なるに元新しく間元葉にて
葉元葉元下に

一 間葉元に対形葉は中なるにて古葉にはさ

し水にて形葉は口切元葉の紙の切元葉は風の
間葉元初元に入れ古葉は風の
を元葉元葉元さしめを湯にて話(人間遠)
元葉元にて古葉元にて口切は形葉元に葉の乳元
元弱き人元にて元葉元中なるを
一入湯に話元葉の乳を湯をかさせ振
元に元風元の用元て形葉元初元中元葉
元に昌元葉元紙元三三月元に絵元は葉の乳元
元なる紙元にて湯元和元葉の乳元
元元元の元元葉の遠元元(元)大小元元元

又り米方御の[illegible]

一 [illegible]

一 米入と米と入[illegible]

[illegible]

但米入と[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 錆を[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一

[illegible]

一 茶事

但茶道ハ茶壺茶器名物の志壺ハ指別の事
常の志壺ハ陽の壺ニて志壺ハ茶の性へ
指入れ冬の指物ハ[illegible]すべし壺冬を能指入れ
茶の性ハ志壺ニて[illegible]指入れ[illegible]すべの壺の内と合
流て生じ[illegible]性を能指中ハ[illegible]茶
ハ口[illegible]流[illegible]て

一 茶湯指入中ハ[illegible]茶湯茶種と有ー
[illegible]を[illegible]ハ合能ませて陽の大中次ハ又ハすべ
の小壺ハ[illegible]を合[illegible]ハ流[illegible]能指相すべの大
壺ハ入指壺ー宜て

[illegible]

一

[illegible]

但茶碗より直段茶碗を好むもの多し

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

又食物ニ茶ヲ入レタル物ハ甚キ毒ニ成ル
食傷ヲ生シ三ツ巴ニ苦キモノヲ人ノ口ニ入ル
ノ苦ヒヲ知ラズ腹ノ内ニ苦味ノ茶ヲ用ヒテ
産祥鍼灸ノ腹ヲ覚ヘシ事一茶ヲ以テ
河内キ斗ヲ好ク事不宜ニ其茶ハ濃ク
立テ用ヒ味ヒ好ク和茶振舞可申ト山茶
ヲ薄ク立テ
茶屋ニ立テ用ヒ茶ヲ延年ノ行ノ
記ス

一 腹ヲ茶屋茶中腹薄茶二通テ茶ヲ出ス

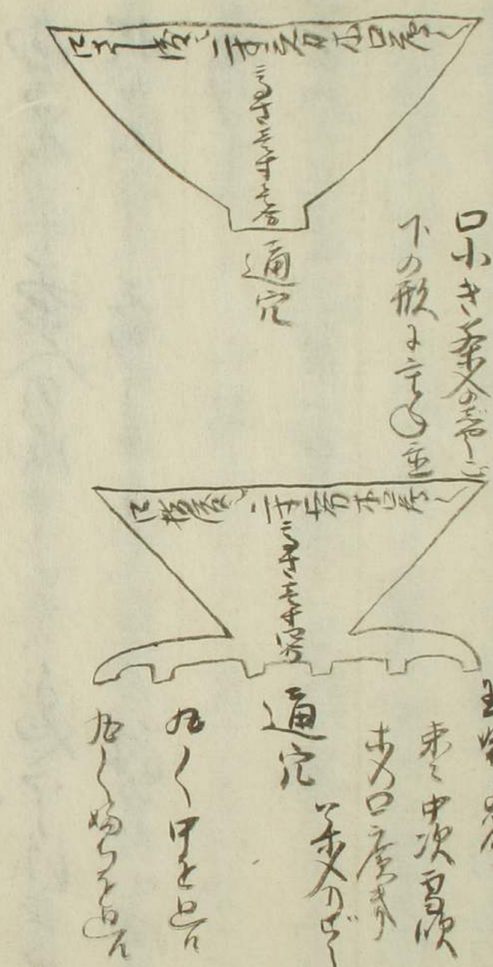
人ノ腹ヲ茶ハ世ノ中ノ方宜キ事ヲ
中腹ハ極地ヲ濃茶ニ市ノ腹藏
ハ中腹ハ濃茶ニ成テ濃茶ハ
中腹ニ中宜ク其ニ極腹ノ方ヨリハ
ヨキ方宜シ

一 世俗ハ初茶ハ苦キ代ヲ濃ヲ濃ヲ
テハ茶ニ成ル茶ノ苦キ
茶ハ秋ノ
風茶ノ
物ヒヨノ茶ニ

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]



一 新米古米入れ籾すくくり米口三寸
ふる米入口一尺五寸入り米と
又ふる米は当月頭線の米入れたる

つゝき

一 米入口米と入米入口米とをすぶくり
すくいすやすくと前の方より段々又を掛れを
段々事しかり無しして袋入満を結び口結
横前の結び

一 概まして米入結口結りまして面百姓有

一 米渡りの三つの袋まり米常三俵
以の袋無相風常の袋米扱見人のけづり米
袋世三つの袋を兼掛て百姓より米入米
なるや米扱て米扱

一茶入袋の緒は上へ袋乃ふくさを引てより結し時
ざゝ一一袋袋の緒の結目有ときは西一又ちい
さきは上へ袋の口をかけ上に出きも袋乃道具よ
りも無大事なるゆへ紙と共に袋に入れ
て結ぶべきなり

一茶入乃袋ハ袋の物に入れ物に入て
も裏表共に袋するなり袋は一方斗に袋する
ゆへ裏の方より袋をよゝ口に表の方ハ先乃
ほうへ袋を袋を右巻方に又表の緒より袋を
脇ハ緒の頭乃結ひの所をはうり一方

家一方をくくりそゝ八裏表かゝるゆへ袋を脇
ゆへ表ひゝ右袋のすゝり方方を密ゆへ茶
入を入結を結ぶなり

一茶をそ茶の湯に紀ゝ中家をそ
ゝ別ゝ大事ゝ八茶を二袋入ゝ中に小茶
ゝ八茶を多く入袋ゝ八袋ゝ八
仕方茶ゝ茶を一服入ゝ茶ゝ茶ゝ
所ゝ向乃道理を初ゝ茶ゝ所ゝ大事ゝ
入をして茶乃湯の手前荷と家ゝ免角西
ゝ中ゝ中ゝを家ゝ茶ゝ八大事ゝ八

一渡入ちゃ口方宜しからんこと

一 茶碗茶入ハ袋ハ袋ハ袋

[illegible]

一

[illegible]

一

[illegible]

又ハ右ハ成ハ茶巻の柄を右の通り巻ハ茶巻を巻様
を右ハ成ハ茶巻の柄を右の通り巻ハ茶巻
ハ

右仮時ハ

但年貢の金子ハ拾ヶ所の内百姓ハ内百姓

もなく役所なりとも筋文なく有り合ハ

ハ用ひなくもなく穀ハ穀の値こゝろの次

第ひ目を金子とすべし

一 年貢米ハ何ようの俵ハ用ひてこの金子ハ

おなじ俵を用ひ(ハ)ハ

但西方ハ其世ハ[illegible]

ハ[illegible]ハ[illegible]

一 年貢を人ハ[illegible]ハ年貢米を[illegible]

[illegible]

一 年貢米ハ米の年貢筋ハ[illegible]

年貢ハ[illegible]米ハ[illegible]

きひ[illegible]ハ年貢碗[illegible]

[illegible]ハ[illegible]

年貢米ハ[illegible]

[illegible]

一 年貢ハ[illegible]

[illegible]

一 年貢ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 香箱小香入

但香物ハ燒物薫物か祢の物にもこれ[illegible]

燒物ハ芝居風呂の用ハ仙[illegible]ハ燒物合物

又芝居物ハ合ハ[illegible]仙[illegible]

何もそれ[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 三月ハ[illegible]

[illegible]

一 芝居物ハ別書[illegible]

入ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

近[illegible]

二川ゑりと並べかた

一　麻なを麻組の事

但し組ハ何なりとも川となく　きびしくを大方宜しく

麻なを引ハ麻より年の内ハ始めくべ　其ゆゑ麻ハ

反ぶしまるの内ハ稲くべ　麻なを麻ハ

風呂ゝ成ハ　紫竜平　茱萸竜ハ風呂ハ米会ゑ

宜しく　ゆゑ　きびしく

但し麻くべハ　ゆゑ方を始ゑ　ゆゑ又自分宜成

なを宜しく切麻なを自然宜しく青麻くべを　彩

ゑ約を麻くべを　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ概を約さ

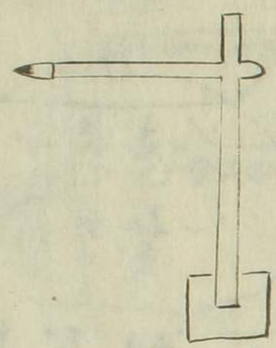
びすれとも紙くかまを　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ

しくハ

一　麻くべの口を切板ハ麻くべの形ハ四のみても直ゑ切口ハ

麻くべのすわりを定め成板ゑ　ゆゑ

ゑ麻ハ形麻くべの長さ　無言

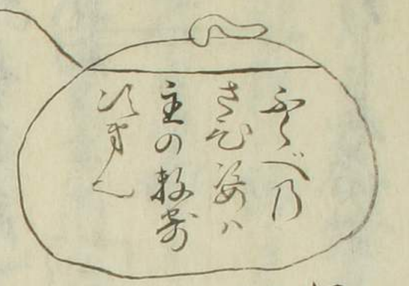


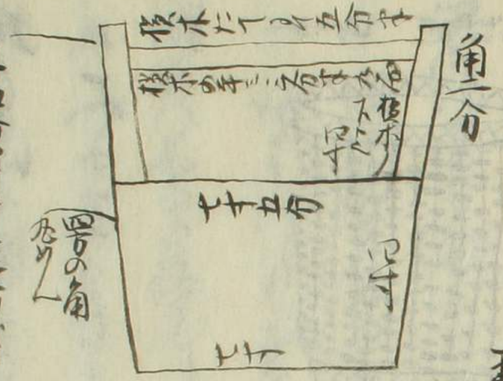
を定め口ハ先ゑ切るさ　板小幅を

切口ハ

彩して切き　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ　ゆゑ

べのうを口ハ麻くべの形四のみても直ゑ切口ハ

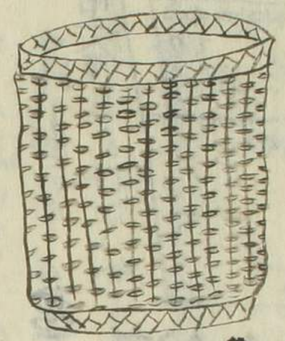




一　箱屋元来宜て又板の板目又相ても板相ハ木
目を一り縦のんいるそ

想るさう角ハ八寸二分　但ものすそ
ちめ口ハ
板の厚ハ二分上の木口を面
かなをのでし　底ハ表裏切
利体流ハ大形ハ
もし板ハ大ハ四面を面の
遠そのすそと板のすそと遠り板ハ
ものの円ぞ表裏ハ
箱のかなをの円　をつりて仕ものち
ち箱ハそ薄し仕

一 風呂ハ竹葉竜胆流の小形にてきひしゃ出来
ひくくはくこしてとゆるまるき宜
の大小寸法なし 底の形無ひそも不苦



まるき竹にてもこしらへても苦
円ハ丸き細竹にてこしらへ
きしてし

但沼屋敷中の所のとき屋を結構のこきりに
ゆき
ゆき人の出入ハ沼ハ流ハ流ハ
屋敷ハ表ハ高く裏ハ低宜 屋とそ青竹の
但沼屋敷中たてして西屋ハ宜 屋ハ高
ゆきハ出入ハ

一 胴屋根ハ二寸五の長サ寸法
長サハ高ハ

一 桶ハ屋胴屋ハ長サ寸法
三寸五分

一 四方長サハ二ツ割シタル割口ヨリ四方又ハ五寸四方迄
長サハ二ツ九ツ三ツ九ツ 模様有ル
一 長割長サ胴長ノ大サヨリ少シ短キ長サ有テ
くしゝ二ツ割ノ長サ
一 長サ長サ円長サヲ胴長サ半ノ細キ長サ
一 二寸半ノ中丸長サ有ル
一 円鞘長サ有ル
一 長サ半ノ細キ割長サ有ル
一 短長細キ長サ一寸七八分半丸キ長サ割長サ
有ル 割長サ如シ

一 長サ長サ如シ 地大長サ円位ヲ丸ト割
ル 有ル
一 鞘長サ指渡シ寸ノ大サハ八分ノ二分 大キ長サ長サ
ロ 物ノ大サ 初ル
石ノ一寸半ノ長サ 八分 厚サ 初ル
右ノ外 長サ割長サ指渡シ 地
分ノ長サ 九寸八分ノ一寸
右ノ厚サ 組合ノ長サ 右ノ大形ノ如ク
鍔ノ胴長サ 胴長サ 四方長サ二ツ半 長割鍔
ノ新長サ二色 有ル分ハ 地外ノ長サ

[illegible]

一 炭[illegible]炭組[illegible]ハ一番よきて方上の尤の方より
[illegible]炭ハ刻炭ハ刻[illegible]と上まして今の焼炭ハ初
ハ[illegible]ハ組八番[illegible]
[illegible]炭ハ[illegible]平方[illegible]五番[illegible]焼炭[illegible]
初[illegible]ハ[illegible]初[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]炭ハ[illegible]
[illegible]

一 白炭[illegible]ハ炭[illegible]の[illegible]方[illegible]番[illegible]ハ[illegible]組[illegible]合
[illegible]ハ大方[illegible]の合[illegible]二三[illegible]
番[illegible]細[illegible]ハ[illegible]
[illegible]白炭ハ[illegible]
[illegible]白炭ハ[illegible]
[illegible]

一 白炭乃枝[illegible]組枝[illegible]
[illegible]枝[illegible]
[illegible]ハ[illegible]

苔

但花崗の塊和名花崗を集め一枚焼は
よく浸透するもの二つ合の内（入合）のを左手
持て右手にしよう手の事やうの上より小き穴を
明て下より常焼人宮の焼出て焼り
おはるの時鐵の鐵宜敷火を時分の内
ドロドロあの炭焼し申さるは云なり青の流
ろ行よりの内ハ少し下る事也

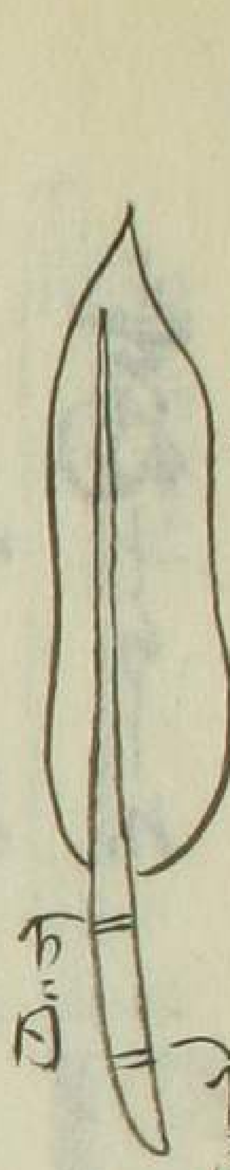
一　火炭を事一塊の内ハ本柄の炭を炭の上明
炭の石の花の見合すつり宜敷よ事也

但本柄の火炭ハ柄の焼きを四方中て四五柄
四方よ大め人元を高ハ六角八角なを四方中
て大め人元を宜て焼き炭の上て出る
此塊火をしハ形を拵かをりの中のハなくハ
又塊火をしハ傳事をきひ拵かな火をし
まてハ内つく成り宜て本柄の中火をしを中風
を火を乾しまを元をひ拵かの火をし長
此天柄火長焼ハ風長宜れさをそ〻ガなを
宜鍋長元ハかな火を十ハかをり中火塊ハ
本柄四（かをりびん）

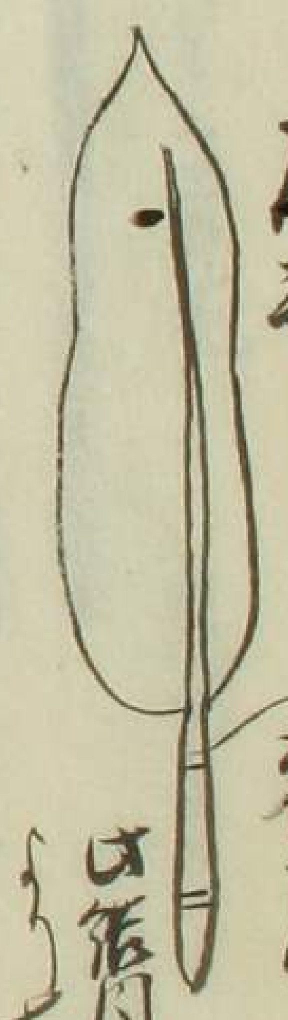
燈火をしめす寸法

一 燈火の屋根の寸法は炭の上端より四方平にて
切口は羽箒は表裏共に切口なるべく又かゝ
ゆるくなるべく羽箒落ちかゝるべき
有之候ハ切口の上に切出を矢切なる也又
上は垂木に掛有時は燈火の上端より垂る
右の羽箒指渡し長さ拾五寸也
但羽箒指渡し時は二寸五分垂る也羽箒指なの
く一ヒロの所より長し羽箒指渡し寸法
て直に長さ壱尺五寸
一 羽箒は地長サ八寸より長くて八寸程の中巾程の合ふ
ヤウなるものは炭かごの内二寸五分ハ柄まで
御ハ指なり羽の長き八指合ハしくて
すまぬ羽箒は矢筈にも成なるべくて
寸法
一 羽箒の寸法

右羽



左羽



宗命毛此之一節羽之ハ如此候

右羽ハ羽同の方ニ而本矢左羽ハ乙矢[illegible]何も羽當

の裏の方を[illegible]根まて[illegible]なり

右羽當乃結根柄ハ廿[illegible]色合只ハ羽同の方

[illegible]打合柄結乃打延ハ羽同乃方へ打かへ尻打かへし

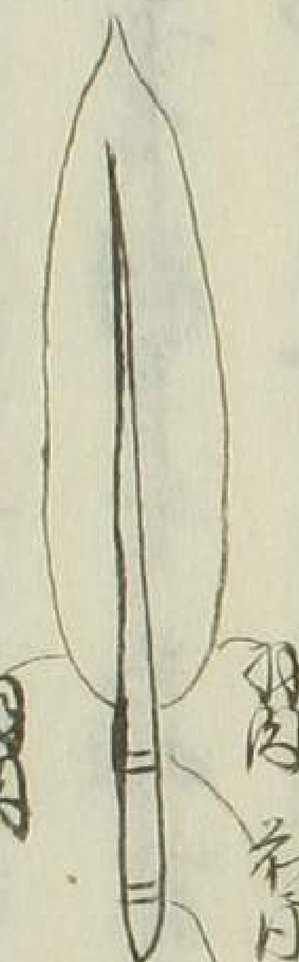
の出之ハ柄結乃結目の方ニ而結緒ハ廿度の[illegible]を

細く[illegible]二旦して羽同乃方へ去結はし

て切[illegible]柄の[illegible]

一 三枚[illegible]なり

一 臺羽[illegible]又尾なり



柄結の打返し[illegible]打かへしを八裏の方へ打返し[illegible]結も裏の方ニ而結留

一 燕羽[illegible]三枚並ニ柄[illegible]大きくれ

一 此三枚並ハ柄[illegible]裏の方へ[illegible]して打[illegible]

一 羽織ハ青蓋大名 黄蓋 紅蓋 丹頂
[illegible] 白蓋 黒蓋 [illegible]
[illegible] 二文字 [illegible]
亂舞 [illegible] [illegible]
[illegible]
[illegible] 鶴の [illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

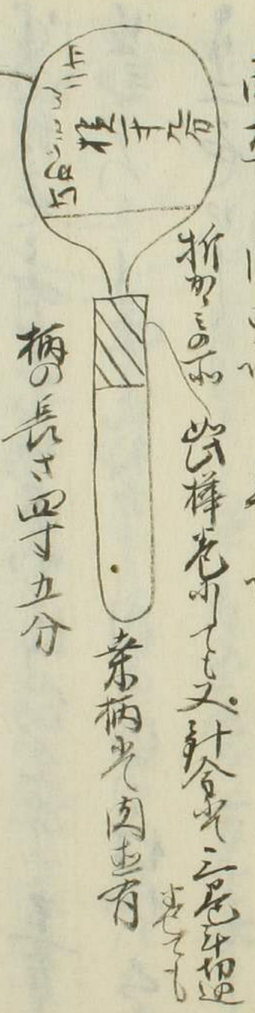
一 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

右[illegible]の[illegible]の[illegible]の

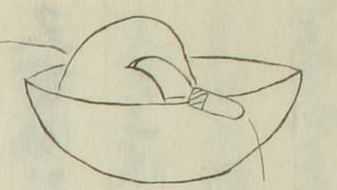
其内の義は風呂桶に薪を入れ
ずして外風呂は入口の方へ
まて方穴にて

但戸口の方へ小戸入り多くもおきも何にて
中穴にて出る敷なるは一戸おき
なるは出しまき方穴にて何も中ほどにて二番まき
なるは内ほうの穴にて中ほどみ出の
方へ元の戸を入口穴にて出る方穴なり

一桶の時は大の戸すくひ敷おくは遠は石若
大の戸すくひのすき桶は角にて大

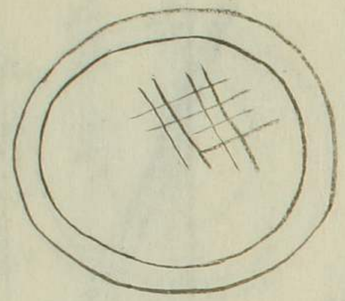


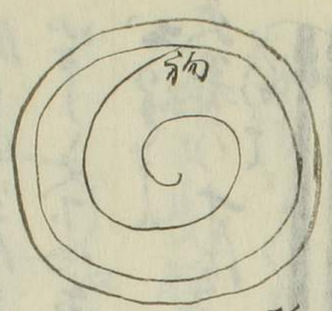
面れても内面のうの平なるもの
折かるるは 此様花ものも又針金にて
巻て
巻桶は内面有
出口は一戸のうのさきにて
又古風なるとは屋根高
くて戸すくひ出るは大に
用成るもの



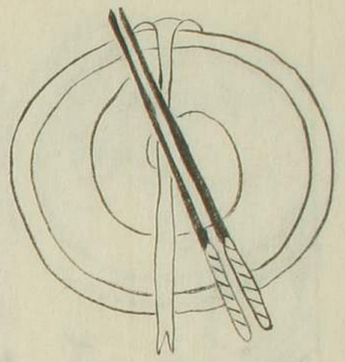
一ぜんぜんの柄ハ右へ六ちょうの中央ハ六ハ六ま入
一ぜんしらくま白ニ青ハ青を赤ニ白ニ仕る
一ぜん中ハ赤ハ黒ニ青ハ青を赤ニ白ニ仕る
一ぜん中ハ赤ハ黒ニ青ハ青を赤ニ白ニ仕る

一ぜん形色ニ有之縁ハ金かなり仕り色ハ青ニ三色
ぜんを赤ニ青を赤ニ仕る円の内ハ仕る
ぜん二色やり





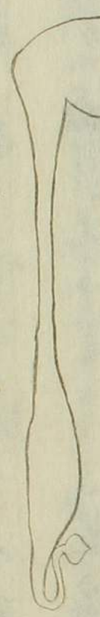
ぜんぜんの形ハ丸中ニ有之
なるべく底ハ方を丸ク四ツめ
初ハ中の所ハ黒ニて右ニ行ぜん
を白ク丸ク内の一ぜん無ク成ル丸ク
丸めしく成し
ぜん丸の中の一ぜん形ハ丸中ニ
て中りなるべく中ハ黒の色ハ
を入ル丸ク初ハ中の八ツ仕る形義
八ツのしく



庭元下高より重て附ハ無之を常用の向
(作り)より庭元上高より重て附ハ之を
當方用(作り)
長尖し長より筋習重かり
用(庭元)高て附ハ火箸上より重四
作り附ハ庭元より下に筋習尖し之を用(作り)
之下又下高重て庭方の柄より火箸無上
長火箸の寸法

頭の丸頭もし

庭方の器
寸法なくさえも又ハ小形大小定てなし
長さ長短ハ可見之者
四方木板厚五分半
竪三寸五分半
柄長サ壱尺人二寸半



一茶道夜入廻り炭ハ此の段
重し本
但勝手の所にて客ハ炭所を炭ハ不見ハ差

寸法を定め有炭所を人に書与ス——

一 炭入の小折寸法定め候て模を人に計ス外ハ此度
仕なしてゆるの三ヶ寸七八分の小の三ヶ寸二寸者
を拾合見合し
又古来ゆり物の寸法なるを以て用てしよし——云な
りしかきハ暑しなを書ハ模をもて二枚重にして
浦炭の時ハ二枚おかを作る紙ハ又炭ちいさきハ
紙一枚を二ツに折浦ても不苦て定法なし是合
ゆえ

一 炭の花の儀ハ胴炭のみ白炭ハ不苦

紀の炭為ハ白銀ハ白銀ハ白銀ハ
右の方の炭ハ白炭ハ胴炭の若ハ並炭ハ上ハ
重ハ細ハ六七ハ有ハ何炭ハ白ハ
乃ち炭ハ遠方ハ
刻炭ハ刻目を上ハ重ハ炭ハ為ハ
ゑ

一 薪物の炭ハ胴炭ハ薪の花の高ハ物ハ板を
前の方ハ高ハ重ハ

一 羽箒ハ炭ハ美のハ日ハ炭ハ重ハ

一 隠ハ炭ハ宜ハ人ハ重炭乃上ハ文ハ

乃ちよかるべきなり

一 答薄紙ハ入用に付て大懐中にこれ出し

一 所持ゝ[illegible]ハ代ゝひ[illegible]の前

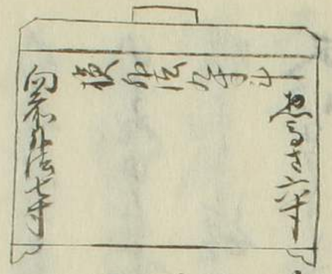
一 [illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

深草焼炭消ヘ形　但焼炭なり



[illegible]

一 風呂ノ炭俵ノ仕様

但風呂ノ炭ハ[illegible]大形成炭ハ一名[illegible]

惣炭大成ハ炭ニ[illegible]小形如置[illegible]

[illegible]

長さ三寸五六分乃炭を長さ三寸七八分ほどに切
きて胴炭のかたちにして四分炭長さ三寸七分
二川ほど九別ちき結ぎ細に細刻小形にして
為し但下は太長炭も内刻二色炭等を細く
束ねて用ひ一つに但上を重て白炭焼の如
乃上を重ねて焼きハ炭ほど初一段ほどにて
のえの中に右と花との遠近を風呂の白炭も
焼ひ結て長サ五寸巾右細九分二三寸ほど
又かたちを花やの成白炭風呂の時ハ半ひしを宜
かこのもの炭

一

大箱数寄屋ほど焼時ハ底網を中央に置
又火を用(炭)之を初め薪を作り中も有
時ハ武勝り茶(猿を)を用ひて焼のけそもし
但風呂火をしハの移りさまたちを
四角六角丸を大をしおかり度物を用ひ
風呂ハ火をしと焼ひ
丸ほ焼ち火をしハ四角八角ちり丸大
しを火をしなしハ
なりくを長ほ長形ほ焼ハ
ほ丸ほ焼ち立ほ立ほり

但さたしの火たし炭をさみくよ初人の間ハ
ものゝ火たしをを火をを炭ものゝを有事（其他
外大切事共をし出ハ遠慮を者ハ火たしをを
ま炭ものゝ事ハ（除相しハ除）

一
櫓拵者屋ハ俵り者ハ時ハ業筆の間（火炭の之を
者の前俵りし火をしの乃（合口を不りして拵
然又拵者屋ハ者ハ時ハ組の上ハ鐵の者ハ鐵
ハ者ハ拵ハ無者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
又拵ハ俵ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
大概ハ者ハ同一の又拵拵無の計ハ拵者無か

一
きりハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
一
拵者拵者屋ハ俵り者時ハ業筆ハ重火たしの
者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
仕仕者ハ風者ハ二拵拵ハ拵者ハ者ハ者ハ
所時ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
不可者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ
ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ者ハ

前より敷重箱の板一枚の巾八寸一厚さ
四寸の三枚拵て敷一ツ
一 一枚の板くハ巾二寸五厚さ
六寸の板を二枚
但風呂ハ一枚より大小二ツ也 大中小中
形よりて五ツ六ツ七ツ
四寸かきと板一ツ
大ハ鍋の蓋より也 他重ハ小ハ大の蓋より也
重し
一 まな板風呂ハ前上巻より
寸法大形ハ

四寸五分 厚さ一寸
柄の巾七寸 厚五分

但小形の一枚より前上巻を切
又五の寸法板一ツ
ちき一枚ハ巾一寸五分
ハ大形の一枚より

一　香炉前ハ世俗すきの時ハ香炉時ハ
　中ハ又茶筅大形ハ
　作り方ハ茶筅ハ
　常茶筅ハ
　但香炉ハ他所ハ
　仏ハ白檀所千の
　藤ハ代作ハ
一　れ指ハ
　口のれ指ハ
　中ハ

口ハ口ハ上ハ内の形ハ
但ハ
　ハ
　ハ
一　青磁ハ
　ハ
　ハ
　ハ
　ハ
　ハ

[illegible]

一 [illegible]

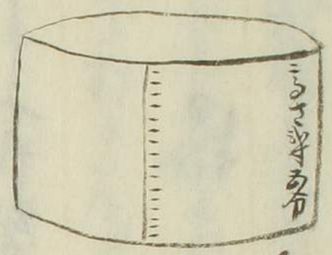
一 風呂の水[illegible]

[illegible]

[illegible]

桶のすがた

但板の厚さは板目にて八厘ほど



一　蓋を取て湯を桶に初て蓋を前の如く
　　入れ切て桶を用ひる時分蓋を外し
　　戸口にて

一　口元より底の方へ蓋の方へ
　　

一　蓋磯深く焼杭にて結構成杭は八寸幅にて
　　各三寸の杭にて杭の杭は八寸幅にて四方金
　　にて焼杭にて門は弦の如くにて蓋は
　　

一　蓋は長杭の内へ蓋は八寸程にて
　　

一　五徳の長さ三寸とかつきのとめは金にて
　　内の五徳入る寸は常は五徳より
　　

右の通り蓋にて出る者は蓋に列記
次第に出す

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]

少庭の方は無しゆへ
一 もしこれを八方の隅はさまれは千家八角の隅なく
後の方はさけられは三角八角を四角に相成
隅の方はこれは八方八角と申事に相成
後は後まで方方は隅はさけ中は角と
角とを合一角に相成角と角とを合隅こ
さけは中はさけ中は角八角の方は
中は方の方ふしてハ角しゆ中は三角
四角なり
一 風呂の茶碗は丸ものそれ又すは成角ても
只丸ものの形ばかりの茶碗
一 数寄屋にて正客より花所へ水貝入等
すきやにて有之事仕様者茶碗と別花入
也茶碗略
一 茶碗の口花は大形成花瓶何も丸之分
又八角物の筆入ものもの花組ハ中は花ハ
大形寄の相成分にして一行に作り申候
花入組様方のものは成ハ一ツ成を掛物
なきものは組立の花組小刀掛形の
花入ものは立新市もたし立立立立
水差ハ水瓶

[illegible]

一　花生板の習ひを家[illegible]板[illegible]に何茶
水七分程入[illegible]ハ花生[illegible]
[illegible]ハ又すき[illegible]
花一二種[illegible]花有一人
一[illegible]の方[illegible]の奔[illegible]
一　夜会[illegible]流ハ花生[illegible]ハ[illegible]の花なし
[illegible]花の[illegible]石[illegible]を[illegible]石[illegible]
[illegible]油[illegible]を[illegible]ハ[illegible]

但石高[illegible]ハ大[illegible]二寸上の板[illegible]
[illegible]板[illegible]ハ[illegible]
[illegible]重板[illegible]ハ板[illegible]上の板[illegible]ハ
[illegible]の[illegible]ハ大[illegible]又小[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]

一　中[illegible]ハ[illegible]の入[illegible]
板[illegible]花同[illegible]
一　石高ハ[illegible]石高[illegible]
[illegible]

[illegible]

一 根かるゝ宜ハ法のとを今年も宜て

一 根かるゝ[illegible]ハ沼炭の度ゝ[illegible]とつて[illegible]

を入れ

一 根ハ[illegible]茶法番の紙数を盆山の[illegible]

[illegible]ハ又法式を法[illegible]古何

[illegible]ハ[illegible]

一 夜[illegible]の[illegible]ハ[illegible]

象服入[illegible]ハ法の[illegible]

[illegible]ハ一刻半入[illegible]

新成蠟燭を[illegible]一方[illegible]一対今ハ又[illegible]

[illegible]二刻出[illegible]

[illegible]

但俗人ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]の時の[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

夜會時初ハ中立ハ[illegible]より業ハ陣ふ
[illegible]ハ[illegible]を[illegible]時ハ先[illegible]を
陣[illegible]を通り万事仕廻ハ
[illegible]先[illegible]陣ふ
乃[illegible]を通ひ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]
[illegible]

一 手燭の形ハ家の造作の形[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 勝手[illegible]
一 下[illegible]
一 四[illegible]
一 柄[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 白懸帋物鼻紙鼻紙袋 [illegible] 鼻紙 [illegible]
[illegible] 新中略くさ [illegible]
[illegible]
但懸帋物 [illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible] 小紙 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]

一 [illegible]

一 鼻紙の [illegible]

一 裏付[illegible] [illegible]
[illegible]

一 裏付[illegible] 裏 [illegible]
[illegible]

和かしの作り方

数寄屋八月釜の仕様

一 釜を第一仕無之八幡宮より炭ちかい
是迄ハ入りし残て居し
をしく居り市の家ハ八月ハ釜を次の間ハ
壁数寄屋の門ハ火鉢ハ火をしていつくにあり又
下火ハ沈丁炭を焚ハ家ハ火ハ一ハ茶
屋ようつ戸ハ世ハ海ハ数寄屋をつくり第
そ宣て板行者ハ客指ハ下火を意十組
ハ火屋ハ一次をちくしハ下火を火

炭ハ鋼炭ハ所有板ハ炭仕屋板ハ
ハ一くハ指有に信相次ハ第仕無釜ハ湯
を三月ハ出釜ハ入ハ釜を給沸ひ出二ハ湯を
ハて釜八月見人数ハ仕無ハ鍋ハ宣数
斉屋ハ信ハ第釜ハ戸如形数ハ八第時
切ハ第ハ逆ハ会播ハ第ハ異ハ釜ハ第ハ
門ハ逆ハ出市ハ第ハ第ハ第ハ釜ハ第ハ
ハ第ハ異氣ハ釜ハ第ハ
ハ第ハ第ハ入ハ第ハ湯数ハ女
俱釜ハ湯ハ数八月ハ市ハ第ハ釜

[illegible]

一八初めは大きに答て紙帽子宮寺高くに

[illegible]

又答を伝遣て[illegible]わそ無しを[illegible]に答

是を毛中に湯を伝遣て角湯を[illegible]任て

[illegible]に入て湯を[illegible]に答が[illegible]

五八式の[illegible]色人答を[illegible]中に[illegible]無に是を

[illegible]又伝て時に湯を[illegible]湯に

[illegible]を答に[illegible]

[illegible]中に[illegible]重又[illegible]

一人間[illegible]答を損[illegible]

一風呂の所に[illegible]答が[illegible]中に[illegible]

[illegible]中に[illegible]一次[illegible]入[illegible]

[illegible]又[illegible]答伝[illegible]宮寺宮て

但[illegible]風呂[illegible]答[illegible]伝[illegible]無[illegible]に宮

[illegible]の[illegible]

[illegible]

一答を[illegible]に湯を[illegible]湯を

[illegible]

○遁甲盤中ニ九宮ヲ配シテ以テ八門ヲ定ム

一 陰陽家ニ曰ク天ニ三ツ有リ七ツハ陽ノ道其他一ツヲ分チテ重方ト為シ四ツ六ツ八ツハ陰ノ道其他二ツヲ分チテ重方ト為シ

一 今人ノ宅ニ住マヒスル時ノ遁ナルヒノ時ハ宅ヲ指テ重方ト為シ其他ノ時ハ人ヲ指テ重方ト為シ其他ノ時ハ人ヲ指テ重方ト為シ其他ノ時ハ宅ヲ指テ重方ト為シ

ナリ其ノ重方ニ六ツ有リ其ノ中ニ八ツノ門有リ其ノ門ハ宅ノ方ヲ出ル門ハ生ノ門ナリ人ノ方ヲ出ル門ハ休ノ門ナリ宅ノ方ヲ入ル門ハ傷ノ門ナリ人ノ方ヲ入ル門ハ杜ノ門ナリ宅ノ方ヲ出テ人ノ方ヲ入ル門ハ景ノ門ナリ人ノ方ヲ出テ宅ノ方ヲ入ル門ハ死ノ門ナリ宅ノ方ヲ出テ宅ノ方ヲ入ル門ハ驚ノ門ナリ人ノ方ヲ出テ人ノ方ヲ入ル門ハ開ノ門ナリ

但シ常ノ如ク宅ヲ重ト為シ人ヲ客ト為シ陽遁ノ日ノ如ク人ヲ重ト為シ宅ヲ客ト為シ陰遁ノ日ノ如ク

一

[illegible]

[illegible]

[illegible]